

# カナレットと ヴェネツィアの輝き

*Canaletto and the Splendour of Venice*



カナレット『大運河のレガッタ』1730-1739年頃 ポウス美術館  
✦ Bowes Museum / Bridgeman Images / DNPartcom

2024年

7/27 [土] - 9/29 [日]

開館時間 / 10:00 ~ 17:30 (展示室への入室は17:00まで)

休館日 / 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日に休館、ただし8月13日(火)は特別開館)

観覧料 / 一般1,500円(1,300円)、70歳以上・高校・大学生800円(700円)、中学生以下無料

\* ( )内は前売及び20名以上の団体料金。\*取崩品庫、ロダン館も併せてご覧いただけます。

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と、付添者1名は無料。

高校生無料ウィーク / 8月9日(金) ~ 18日(日) ※この期間にご来場頂いた高校生は、本展と収蔵品展を無料でご覧いただけます。

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

主催 / 静岡県立美術館、Daiichi-TV、毎日新聞社、スコットランド国立美術館

後援 / 駐日イタリア大使館、ブリティッシュ・カウンシル 協賛 DNP大日本印刷 協力 日本航空、日本貨物航空

Daiichi-TV 開局45周年記念

つながる、次へ

カーニバル、仮面、カジノ、ゴンドラの行き交う大運河、祝祭……水の都ヴェネツィアは今日、華やかな宴の街として知られていますが、こういったイメージは上に18世紀に形作られたものです。その当時ヴェネツィアで、アルプスを越えてやってくる旅行者から熱烈に愛好された画家が、カナレット(本名ジョヴァンニ・アントニオ・カナル)です。

グランド・ツアーと呼ばれる貴族の子弟達の大旅行に、ヴェネツィアは欠かすことの出来ない目的地でした。そしてこの街の姿を鮮やかに、人々の息遣いまで感じさせるように描き出すカナレットの画風は、特にイギリスの貴族達が争うようにして求めたものなのです。

本展は、カナレットの作品に代表される、都市や名所を精密に描いた景観画「ヴェドゥータ」をまとめてご紹介する、日本初の展覧会です。グアルディやペロットなど同時代の画家や、モネ、シニャックなど、後の世代が描くこの街の眺めもまた、併せてお楽しみ頂きます。

時の流れの向こうに輝くヴェネツィアの姿を、この機会に是非ご覧ください。



カナレット《サン・ヴィオ広場から見た大運河》1728年頃  
スコットランド国立美術館 © National Galleries of Scotland



フランチェスコ・グアルディ  
《小さな広場と建物のあるカプリッチョ》  
1759年  
東京富士美術館  
© 東京富士美術館イメージ・カイク / DNPpartcom



ウィリアム・マロー  
《カプリッチョ:セント・ポール大聖堂とヴェネツィアの運河》  
1795年頃 テート © Tate, London, 2022 / DNPpartcom



クロード・モネ《サルテ運河》1908年  
ボア美術館



カナレット《昇天祭、モロ口河岸のブチントーロ》1760年  
ダリッシュ美術館  
© Dulwich Picture Gallery / Bridgeman Images / DNPpartcom

## 会期中イベント

### カナレット展開幕記念ミニ・マルシェ(予定)

7月27日(土)、28日(日) 10:00 ~ 16:00

\*詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

### 学芸員美術講座

#### 「カナレットの景観画とカメラ・オプスキュラについて」

8月4日(日) 14:00 ~

会場:当館講堂

\*申込不要、入場無料

### 特別講演会

#### 「景観画の役割とは? 近代ジャーナリズムの始まり」

8月10日(土) 14:00 ~

講師:高梨光正氏(愛知県立芸術大学准教授)

会場:当館講堂

\*申込不要、入場無料

### 当館学芸員によるフロアレクチャー

学芸員が展示について解説いたします。

8月12日(月・振休)、28日(水)、31日(土)、9月10日(火)、22日(日)

いずれも14:00 ~ 14:30(展示室にて)

\*申込不要、本館観覧券が必要です。

### 館長美術講座「カメラ・オプスクラをめぐる話」

8月18日(日) 14:00 ~

講師:木下匡之(当館館長)

会場:当館講堂

\*申込不要、入場無料

### カナレット展開連ワークショップ

カメラ・オプスキュラに関わるワークショップを予定しています。

8月24日(土)、25日(日)

講師:大塚敬太氏(写真家)

会場:当館実技室ほか

\*要事前申込。詳細は個別チラシ、もしくは当館ウェブサイトをご覧ください。

→1か月前を目途に募集を開始します。

### チケット販売所 前売券は2024年7月26日(金)まで販売

【前売:当日券】 チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通:686-923)、ローソン  
チケット、ミニストップ(Lコード共通:43745)、セブンチケット(セブンコード  
105-551)、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館  
【前売券のみ】 大和文庫、戸田書店(江原台店)、静岡市美術館ミュージアムショップ



### 交通案内

- JR「浜元駅」県大・美術館口から静鉄バス(県立美術館行先)で約6分
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分
- 静鉄(県立美術館前駅)から徒歩約15分または静鉄バスで約3分
- 県名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分  
または静岡県高速道路・新静岡ICから車で約25分

<お問い合わせ>

企画振興課… Tel.054-263-5755

Fax.054-263-5767

学芸課… Tel.054-263-5857

<ウェブサイト>

https://spmoa.shizuoka-shizuoka.jp

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

次回展覧会 『無真館と、かつてありし信濃デッサン館—窪島雄一郎の眼』10月12日(土)~12月15日(日)

静岡市美術館展覧会のお知らせ 『珠玉の東京富士美術館コレクション 西洋絵画の400年』7月26日(金)~9月23日(月・振休)